第八講　係助詞／間投助詞／接続助詞(1)

係助詞（ぞ・なむ・や・か・こそ・は・も）

★「係り結びの法則」

○ぞ・なむ・や・か→「　　　」形

○こそ　　　　　→「　　　」形

〔例題一〕　傍線部の係助詞に対応する結びの語を抜き出し、その終止形を書け。

① さることやありし。

② これやわが求むる山ならむ。

③ ことば多からぬこそ、飽かず向かはまほしけれ。

④ 心なむまさりたりける。

⑤ 花こそ咲けれ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★**「意味」**

○ぞ・なむ・こそ→「　　　　・　　　　」※訳出不要

○や・か→「　　　　　　　　」

※　後ろに答えが**有**＝「　　　　」

〃　**無**＝「　　　　」

※「　　・　　」＝**反語が多い**

※「～　　。」・「～　　。」＝**反語**（←**和歌**で多用）

〔例題二〕「いづこの御いらへかはあらむ」の現代語訳として正しいものを次の中から選べ。

1　どのように御返事申し上げようか

2　どなたに御返事したらよいか

3　もちろん御返事などあるわけがない

4　どうしてこんな御返事をなさるのだろう

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　「誘はれざりけるこそ、口惜し［A］」の空欄Aに入る最も適切な語を、次の中から一つ選べ。

ア　からむ　　イ　らむ　　ウ　けれ　　エ　なむ　　オ　べし

問二　「などかは承らざらん」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

1　どうしてもお引き受けいただけないでしょうか。
2　どうしてお引き受けしないことがありましょうか。
3　どうしても認められないわけではありません。
4　どうして信用していただけないのでしょうか。
5　どうして納得していただけないのでしょうか。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★**「結びの省略」**＝係助詞の「　　」の**一文字**確認

○**に**＋｛ぞ／なむ｝。→「　　」を補う

○**に**＋｛や／か｝。→「　　」を補う

○**に**＋こそ。→「　　・　　」を補う

○**と**＋係助詞。→「（　　）・（　　）」を補う

★**「結びの流れ（消失・消滅）」**　本来結びとなる語に、接続助詞などが付いて、結びがなくなり先へ続いていくこと。

（例）この男の位**ぞ**まだいと浅けれど、三位の中将にて侍り。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　「袖をひろぐるわざをし侍るにこそとうち思ひて…」の傍線の係助詞「こそ」は結びが省略されている。補うべき語句として最も適切なものを、次の中から一つ選べ。

1　あらめ　　2　あはれめ　　3　つつめ　　4　ながめ　　5　ならめ

問四　「表（うへ）の御袴（はかま）の裾（すそ）を荒らかにひかせたまふ折ぞ、おどろかせたまひて、さる御用意はならはせたまへれば、御櫛（くし）・笄（かうがい）具したまへりける取り出でて、つくろひなどして、おりさせたまひけるに、いささかさりげなくて、清らかにてぞおはしましし。」の二重傍線部の係助詞の結びの説明として、最もふさわしいものを、次のア～オの中から一つ選べ。

ア　結びは流れている
イ　結びは省略されている
ウ　結びは「し」である
エ　結びは「に」である
オ　結びは「ば」である

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★**「逆接強調法」**

「文中」の「こそ…已然形**、**〜」**→**訳出の時に「…　　　、〜」などの「　　　」を補う。

★**「危惧の用法」**

○もぞ
○もこそ
＝「〜したら　　　・　　　」と訳す。

問五　「よろしうこそ思ひ聞えつれ、いとあさましかりけることかな。」の傍線部を現代語訳せよ。

※聞ゆ＝「〜申し上げる」と訳す

問六　「人にもこそ会へ」の解釈として最も適当なものを次の中から選べ。

ア　夫にぜひとも会おう　　イ　人に会ってはまずい
ウ　夫に会えればかまわない　　エ　人に会って来なさい

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問七「風邪などもこそ引かせ給へ」を「もこそ」の意味に注意して現代語訳せよ。　※給ふ＝「～なさる」と訳す

間投助詞（や・よ・を・こそ）

★「こそ」の意味

①　呼びかけ（～さん）
「人物 **こそ**。」

★「や」・「よ」・「を」の意味

①　詠嘆（～なあ）
②　強調（訳出不要）
③　呼びかけ（～よ）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

接続助詞⑴（ば・とも・ど・ども）

★「ば」の用法＝「　　接」

○「　　」形＋ば＝　　条件
（　　〜　　）

○「　　」形＋ば＝　　条件
原因・理由＝（　　・　　）
偶然　　＝（　　・　　）
恒常　　＝（　　）

問八　傍線部「ば」と意味用法が同じものを次の中から選べ。

大江山いくのの道の遠ければまだふみも見ず天の橋立

ア　柿食へば鐘が鳴るなり法隆寺
イ　いと幼ければ籠に入れて養ふ
ウ　そのこと果てなばとく帰るべし
エ　名をばさぬきのみやつことなむ言ひける
オ　花咲かばうれしからまし

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問九　「まろも世にあらばこそあらめ、…」の内容として最も適切なものを、次のイ〜ホの中から一つ選べ。

イ　私も死んでしまうだろうが、仮に私が生きながらえたとしても。
ロ　私もいずれ死んでしまう定めにあるが、私の後生を弔うために。
ハ　私も俗世を生き抜いたとして、あなたも生きつづけるとすれば。
ニ　あなたも亡くなってしまうならば、あなたの後生を弔うために。
ホ　あなたも出家していたので、私も早く出家の身となろうとして。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「とも」の用法＝「　　接」

「　　」形＋とも＝　　条件
（　　～　　）

★「ど・ども」の用法＝「　　接」

「　　」形＋ど・ども＝　　条件

問十　「得るとも」は、古典文法の標準に合わない。適切なかたちにすべて平仮名で書け。

問十一　次の二重空欄Ａ・Ｂには接続助詞が入る。Ａ・Ｂをうめる組合せとして最も適当なものを、後の中から一つ選べ。

「大弐（だいに）の居所ははるかなれ［Ａ］、楼の上の瓦などの、心にもあらず御覧じやられけるに、またいと近く観音寺といふ寺のありけれ［Ｂ］、鐘の声を聞こしめして、…」

1　ども・ば　　2　ば・ども　　3　ども・とも　　4　ば・とも　　5　とも・ば

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第八講　係助詞／間投助詞／接続助詞(1)

①「その夜は起きあがるべきかは。」の傍線部の文法的な意味として最もふさわしいものを、次の中から一つ選べ。

ア　詠嘆　　イ　婉曲　　ウ　強調　　エ　反語

②「左衛門の陣などの方にや」の後に補う言葉として最適なものを次の中から選べ。

1　ありけむ　　2　ありけめ　　3　あるべし　　4　あれ

③「いづくにか」の後に省略されているものを、次の中から選べ。

ア　来める　　イ　あらん　　ウ　参らばや　　エ　あらじ　　オ　多かりし

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④　「殿のうちをだに人あまたしてこそ歩きたまへ、ただひとところ帰りたまふに、…」の傍線部の現代語訳として、最も適当なものを次の中から一つ選べ。

1　屋敷の中でさえ人を大勢連れてお歩きになるので
2　屋敷の中までも人を大勢連れてお歩きになれば
3　せめて屋敷の中だけでも人を大勢連れてお歩きにならなければ
4　屋敷の中でさえ人を大勢連れてお歩きになるのに
5　せめて屋敷の中だけでも人を大勢連れてお歩きください

⑤　次のア～オに含まれる「ば」の中で、他と異なる用法のものを一つ選べ。

ア　のたまはすれば　　イ　明けぬれば　　ウ　近ければ　　エ　あらば　　オ　聞こゆれば

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第八講　模範解答

〈例題一〉 ①　し…「き」　②　む…「む」
③　まほしけれ…「まほし」　④　ける…「けり」　⑤　れ…「り」

〈例題二〉 3

問一 ウ

問二 2

問三 1

問四 ア

問五 悪くはないと思い申し上げたけれど、

問六 イ

問七 風邪などを引きなさったら大変だ

問八 イ

問九 イ

問十 うとも

問十一 1

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題解答　第八講　係助詞／間投助詞／接続助詞(1)

〔解説〕

①　「**やは・かは**」は**反語**が多い。よって、正解はエ。

②　この問題は「結びの省略」というよりは、「**係り結びの法則**」の問題。「省略」だと、全ての選択肢に「あり」が入っているが、「**や**」の結びは**連体形**なので、正解は１しかない。

③　「結びの省略」の問題。「**にや**」・「**にか**」の後ろには、「**あらむ**」（＝あらん）を補う。よって、正解はイ。

④　傍線部の現代語訳の問題で、「こそ」が含まれている場合は、結びの已然形の後ろに「、」がある場合が多い。その時は、**逆接**にして訳すのがポイント。選択肢の最後が逆接になっているものは４のみ。よって、正解は４。

⑤　エのみ上が**未然形**で**仮定**条件。他は全て**已然形**で**確定**条件。よって、正解はエ。

〔解答〕

①　エ　②　１　③　イ　④　４　⑤　エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。